



2023年1月24日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表取締役社長 CEO 安川 健司
(コード: 4503、東証プライム)
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)
決算期 3月
問い合わせ先 コーポレートアドボカシー&リレーションズ部長
池田 博光
(Tel: 03-3244-3201)

キャンディン系抗真菌剤「ファンガード®/マイカミン®」を譲渡

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は、キャンディン系抗真菌剤「ファンガード®」(一般名:ミカファンギンナトリウム、海外での製品名:「マイカミン®」)に関し、日本を含む全世界での製造販売承認を Sandoz AG(本社:スイス・バーセル、以下「Sandoz 社」)へ資産譲渡する契約(以下「本資産譲渡契約」)を締結しました。

本資産譲渡契約のクロージング後、本譲渡対象製品に関する事業は Sandoz 社に承継され、同社が製造販売することになります。アステラス製薬は、Sandoz 社と協力して製造販売承認を円滑に移管します。

・ 本資産譲渡の目的

アステラス製薬は、急速に変化する事業環境に対応し持続的な成長を実現するため、経営資源配分の最適化を通じて事業基盤を強化しています。本資産譲渡はその一環として行うものです。

・ 本資産譲渡の対価

契約一時金は 6,250 - 7,500 万米ドルで、本資産譲渡契約のクロージング日に応じて変動します。また、売上に応じたマイルストーンを受け取ります。
なお、本資産譲渡の対価は無形資産譲渡益として計上されます。

・ 本資産譲渡スケジュール

2023年1月23日:本資産譲渡契約の締結
2023年上半期:本資産譲渡契約のクロージング(予定)
クロージング後、製造販売承認の移管を開始

- ・ 本譲渡対象製品

キャンディン系抗真菌剤「ファンガード®」

(一般名:ミカファンギンナトリウム、海外での製品名:「マイカミン®」)

- ・ 本譲渡対象製品の売上

189 億円(2022 年 3 月期)

本件によるアステラス製薬の通期(2023 年 3 月期)連結業績への影響は精査中です。

以上

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

Sandoz AG について

Sandoz 社はノバルティスのジェネリック医薬品事業部門で、ジェネリック医薬品とバイオシミラーのグローバルリーダーです。アンメットメディカルニーズに対応する新しいアプローチを開発・商業化し、患者さんのためのアクセスの開拓を目的としています。世界をリードし最も評価されるジェネリック医薬メーカーとなることが目標です。高品質な製品ポートフォリオは幅広く、主要な治療領域をカバーしています。2021 年の売上高は約 96 億米ドルです。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。